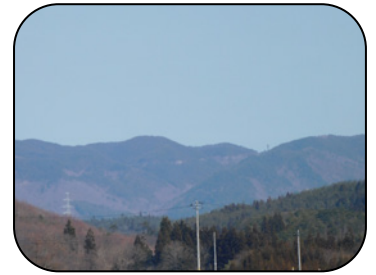


「五輪峠」詩群②

『五輪峠』「下書稿(一)手入れ/春と修羅第二集

一九二四・三・二四

「何べん降った雪なんだが
いつ誰が踏み固めたでもなし
みちのかたちになってゐる」
雪みちがぼそぼそとして
雑木林の肩をめぐれば
向こうふは松と岩との高み
その左には
がらんと暗いみぞれのそらがひらいてゐる
そこそ峠の下り口だ
「あれがほんとの峠だな
いったいさっきのあの櫓の木の柵にある
あすこを峠とおもったために
みちがこんなに地図に合わなくなったんだね」
藪が陰気にこもってゐる
そこにあるのはまさしく古い五輪の塔だ
苔に蒸された花崗岩(みかげ)の古い五輪の塔だ
「あゝこゝは五輪の塔があるために
五輪峠といふんだな
ぼくはまた
峠がみんなで五つあり
そのめいめいが
地輪峠水輪峠
空輪といふふうで
それを集めて五輪峠といふのかと
たったいままでおもつてゐた」
そこでいまその
どこかの雪ぞらに
さめざめ蒼く
光って立つ
五つの峰が
頭の中でしづかに消える
消えやうとしてまたひかる
「五輪は地水火風空
空といふは総括だとさ
まあ真空でいゝだらう



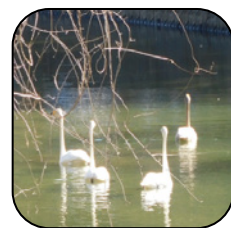
五輪峠の山並



熊イチゴ

火はエネルギー
地はまあ固体元素
水は液体元素
風は気体元素と考えるかな
世界もわれわれもこれだといふのさ
心といふのもこれだといふ
いまだって変わらないさな」
雲もやっぱりそうだと云へば
それは元来一つの真空だけであり
所感となっては
気相は風
液相是水
固体は核の塵とする
そして運動のエネルギーと
熱と電気は火に入れる
それからわたくしもそれだ
この檜の木を引き裂けるといってゐる
村のこどももそれで
わたくしであり彼であり
雲であり岩であるのは
たゞ因縁であるといふ
そこで畢竟世界はたゞ
因縁があるだけといふ
雪の一つぶ一つぶの
質も形も進度も位置も
時間もみな因縁自体であると
そう考えると
なんだか心がぼうとなる

五輪峠に
雪がつみ
五つの峠に雪がつみ
その五の峰の松の下
地輪水輪火風輪、
空輪五輪の塔がたち
一の地輪を転ずれば
菩提のこころしりぞかず
四の風輪を転ずれば
菩薩のこゝろに障碍なく



人首川の白鳥



五の空輪を転ずれば
常楽我浄の影うつす
みちのくの
五輪峠に雪がつみ
五つの峠に…… 雪がつみ……



ホタルブクロ

「何だあいつは」

「ああ野原だなあ」

いま前に展く暗いものは

まさしく早春の北上の平野である

二の水輪を転ずればだめ

三の火輪を転ずればだめ

みんな転ずればおかしいな

大でたらめだ

薄墨の雲につらなり

酵母の雪に朧にされて

海と湛える藍と銀との平野である

「向こうふの雲まで野原のやうだ」

あすこらへんが水沢か

どの辺だ君のところは

どの辺だって云ったって

こゝから見て

見当つかないことは

やっぱりおれとおんなじだろう」

雪がもうここにもどしどし降ってくる

塵のやうに灰のやうに降ってくる

つつじやこならの灌木も

まっくろな温石いしも

みんないっしょにまだらになる



漢字に難儀した。宮澤賢治という人は漢字力の幅が違う。しばらくぶりで辞典と首っ引きで高校生時代を思い出した。これまでは賢治が2度訪れた里ということで色んな取り組みをしてきたが、ようやく宮沢賢治の世界に一步踏み込んだ気がする。ちょっとだけよ！ 古っ。

ここ人首の保育園では長年、園児が「アメニモマケズ」を暗唱して、色んな場で発表してくれる。子供たちの発表を聞いて、私も慌てて改めて暗唱した。園児も先生もすごいと思う。いつか必ず役に立つはずだ。しかし、この保育園も3月でなくなり、大切なものがまた一つ失われる。切り捨てるより、面倒くさがらず残す工夫をしよう。

※温石いしとは、蛇紋岩等を火で熱し、布などで包み、湯たんぽのように体を温めること。

私は見たことはない。もちろん経験ないが、この辺でも昔使っていた人がいたらしい。

賢治の足跡マップ

大正 13 年 3 月 24 日

宮沢賢治一行は花釜線鱒沢駅で下車し、鮎貝～伐伏～五輪峠へと旧五輪街道を進む。



<『旧五輪街道』は本当の旧五輪街道とは少し部分的に違う所があります。林道と併用している部分がありますので、今後できる限り正しい街道に修正していきます。>

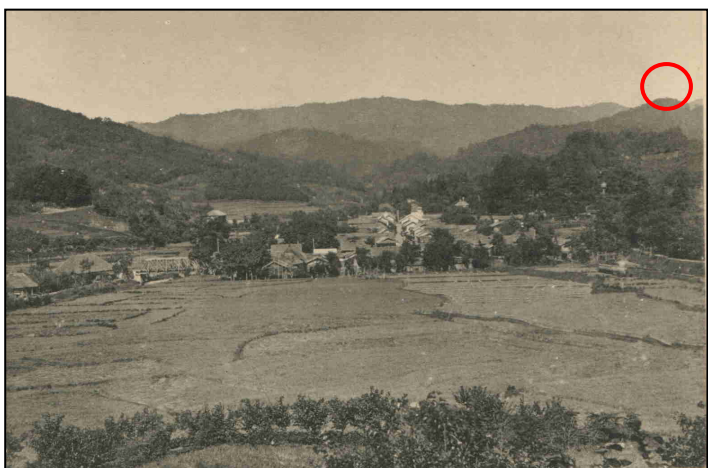
旧五輪街道 点線… 五輪街道 ピンク 国道 107 号 緑

<五輪街道は現在通行止めです。多分 4 月末には開通するでしょう。>

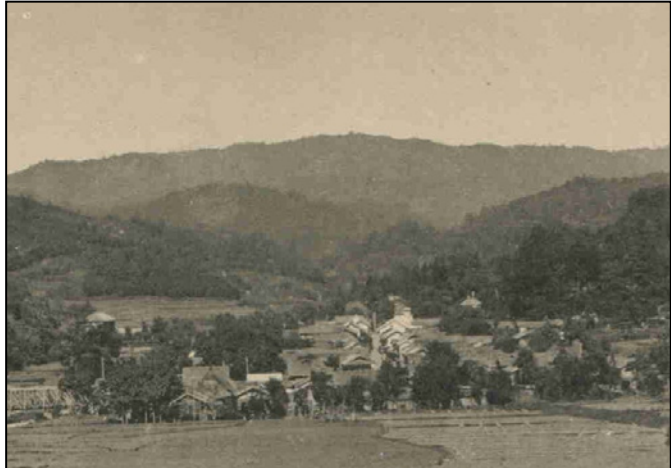
点線は宮沢賢治が大正 13 年 3 月 24 日釜石線鱒沢駅に降りてから歩いた道です。菊慶旅館に一泊し、翌日水沢・水沢緯度観測所に向かっています。絵が下手ですみません。

きれいにまとめた「五輪峠・賢治マップ」(米里振興会製作)が米里地区センターにあるので、連絡をしてみてください。 米里地区センター(Tel 0197-38-2221) 又は「賢治街道を歩く会」山崎(Tel090-5597-2340)にご連絡ください。

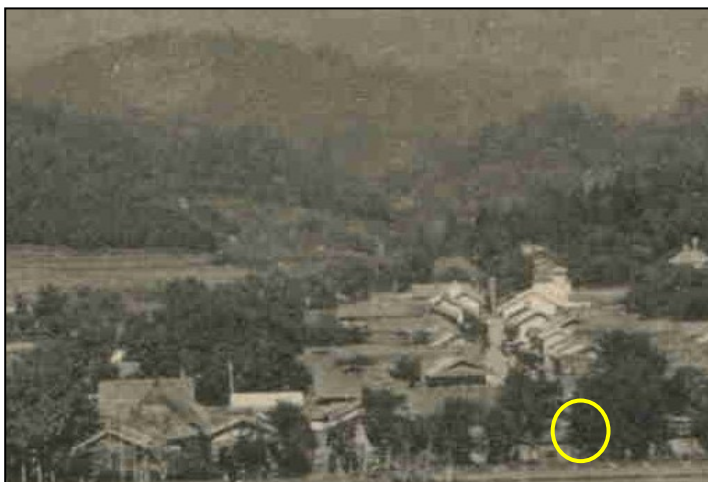
宮沢賢治一行が訪れた頃の人首町 赤○が五輪峠



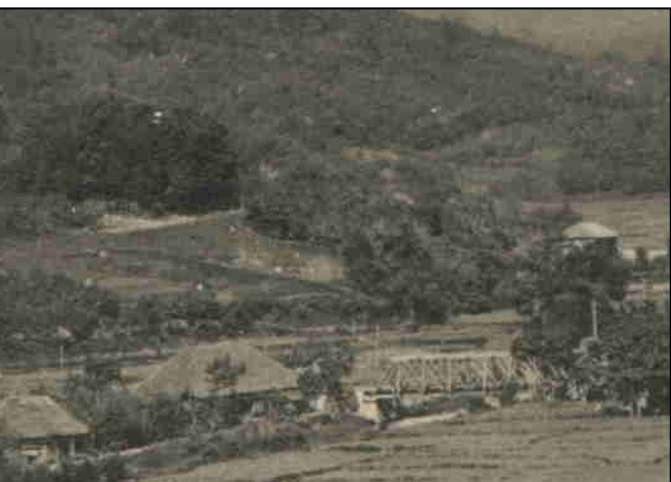
五輪の山々 尾根に藩経塚があります



人首の一本町 ○が菊慶旅館 教会も見えます



菊慶旅館の近くにある新町橋



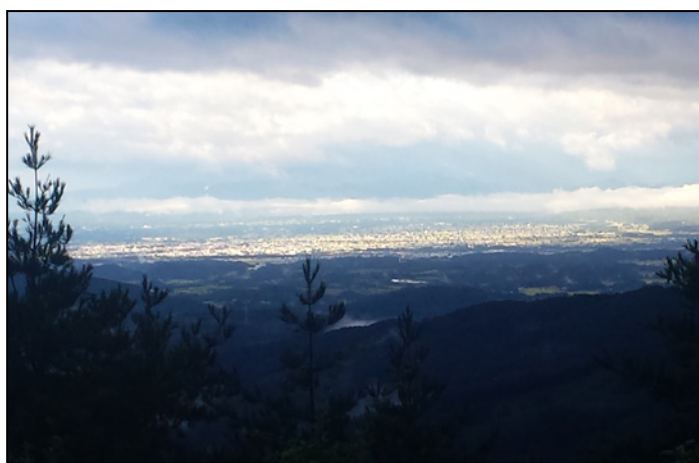
峠はいつも 3mにも伸びるイタドリに覆われ、年3回はイタドリ刈り。



6月には枝やツルが伸び、胆沢平野がよく見えません。千葉光紀氏に頼んで、秋に少し枝を払っていただいたので、春が楽しみです。もちろん市の許可を得ています。



峠から少し下ると眺望の良いところがある



昨秋五輪街道で雄同士が争っていた。車に驚いて逃げて行ったが、春には山菜取りを兼ねて角探しをしよう。

種山ヶ原で見た雄鹿



「星の楽校」

宮沢賢治作品の中には宇宙のことが多くでてくる。賢治自身が作詞作曲した「星めぐりの歌」もある。子供たちが賢治作品を理解する上にも、宇宙のことに興味を持たせることの必要性を感じ、色々な取り組みを続けてきました。その一つが「星の楽校」です。幸いずっと私たちを支援していただいた「奥州宇宙遊学館」の大江昌嗣先生が快く校長先生を受けていただき、たくさんご指導をいただいている。今年度は種山ヶ原で宇宙遊学館のスタッフ7名が指導者として第12回「星めぐりの旅」を実施できた。しかし、天候が悪く「星座の森」食堂で映像での観察会になったが、児童・一般30名が参加してくれ、喜んでくれました。又、「星の楽校通信」を発行し、今17号に取りくんでいます。

「星の楽校通信 14」「星はなぜ煌めくの？」

2021・1・11

明けましておめでとうございます。「不来方のお城の草に寝ころびて空に吸われし15の心」啄木

今年も通信を通じ、星空情報を提供していきます。気が向いたらちょっとでいいので読んでください。「星はきれいだな」から星空の見方が変わるかも。

今年は「星空観察会」を2回は実施したいと思います。また、夜空を見て、「何故なんだろう？」と思うことがいっぱいあると思います。一度そんな謎解きの会も開きたいと思います。どんなことでも知りたいことがあれば、2月末までに山崎まで質問事項等をお寄せください。大江昌嗣「星の楽校」校長先生は国立天文台の名誉教授ですので、いろいろ教えてくれると思います。

今年の注目の天文現象

スーパームーン

5月26日

※皆既月食も

流星群

ペルセウス座流星群

8月13日中心に

ふたご座流星群

12月14日中心に

惑星

水星 1月24日

夕方の西の低空

7月5日は朝東

金星は2月まで「明けの明星」7月から「宵の明星」

※2月までは朝東の空に、

7月からは夕方西の空に見えます。

「星めぐりの歌」は

※「双子の星」は是非読んでください。

宮沢賢治が作詞作曲した歌で、童話「双子の星」（大正9年頃）に登場します。賢治の妹トシが病に倒れ入院した頃に書かれたと言われ、登場人物のポーズは妹のこととも言われています。この歌は、「銀河鉄道の夜」にも登場します。

「星めぐりの歌」 宮沢賢治 作詞・作曲

1、あかいめだまの **さそり**

ひろげた **わし** のつばさ

あおいめだまの **小いぬ**

ひかりの **へび** のとぐろ

オリオン は高くうたひ

つゆとしもとをおとす

2、**アンドロメダ** のくもは

さかな のくちのかたち

大ぐま のあしをきたに

五つのぼしたところ

小熊 のひたいのうへは

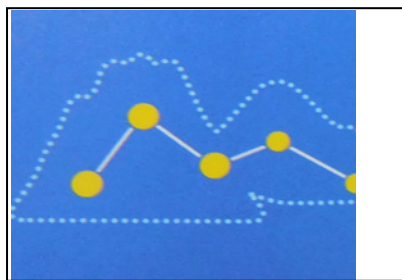
そらのめぐりのめあて

→「アンドロメダのくも」はアンドロメダ大星雲と思われ
ます。

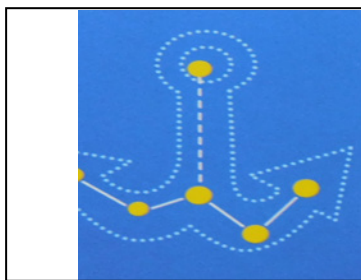


M31 アンドロメダ大星雲

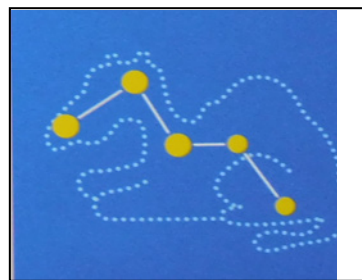
カシオペア座はWの形というのが定番ですが、別な見方もあったのですね。



愛媛県では山のつらなりのように見えるから「やまがた星」



瀬戸内海の漁師たちは船のいかりのように見えるから「いかり星」



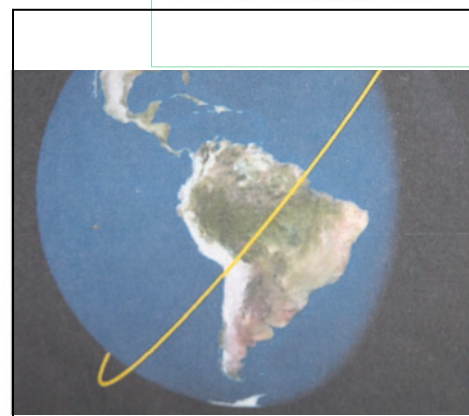
アラビアでは砂漠にすわりこんだらケダの次に目ラズので「ラ」

国際宇宙ステーション(ISS)とは ※広さはサッカーコート位

ISSは世界各国の宇宙飛行士が搭乗し、実験・研究地球や天体の観測などを行い、世界各国が共同で作り、運用している人類初の一大プロジェクトです。

ISSは400km上空をいつも赤道に対して斜めの軌道を90分かけて同じ軌道を一周しますが、その間に地球が自転するので、時間がずれていきます。

また、ISSは自分で光っているわけではなく、月、同じように、太陽の光を反射して輝いているのです。ピカピカ光るのは飛行機ですので、お間違いなく。白く静かに動いています。



国際宇宙ステーション(ISS) 今は早朝。17日から夕方に見えます！

<観測地・盛岡なので少し時差等あり>

<方向>

<仰角は水平線からの見える角度>

1月19日 18:10~18:14	南西~南東	48°
20日 17:22~18:28	南南西~東北	28°
21日 18:10~18:14	西南西~北北東	64°
22日 17:23~17:29	南西~南東~東北東	80°
23日 18:12~18:16	北北西~北	31°
24日 17:24~17:31	西~北東	43°

※この通信を希望する人がいたら、ご連絡ください。通信をお届けします。

賢治街道を歩く会 米里字人首町 40 山崎勝 Tel090-5597-2340

今は、むしろお年寄りの方々が楽しみに待っていてくれる。「きれいに見えたよ」と電話をくれことも多い。育てたいのは子ども達だが、やがてお年寄りの動きが子どもたちに作用してくれることを願っている。今年は丑年、ゆっくりゆっくり。「人のことばかり言ってないで、時には星空を見て！」